「例えば、森」

十一月十二日、東京都港区「自然教育園」の森で稽古会を開催致します。
自然教育園は、人の手が入りながらも旧い武蔵野の面影を残した雑木林になります。

「森という自然の中に身を置いて、何を感覚的に感じるか。或る木の前で急に立ち止まってしまったとか、自分と森の中の木たちと出会うというのは」

「そういう滅多に使わない感覚を味わってもらう時に」

「まずは白紙の状態で歩きましょう」

「その時に、『身体っていう視点がどう関わってくるのか』って気がします」

「草と木は、森（雑木林）と人の手により、木炭、木酢、灰、染料として色ももらえ、最終的に堆肥にもなってくれる。命の循環の一つの点なのですよ」

「（なぜ自然教育園か？）
それは身近にあり訪れやすい場で、
都心に残された人の手で作られた森だから」

「そこに吹いていた風、梢のそよぎ、かわせみ、亀、とんぼ、
訪れている人達」

「二度目に森の中に入り、」

「自分が気になったと思っていたのは、実は木じゃなくて、
もしかしたら太古の風だったのかもしれないし」

「例えば、森」

日時　令和八年十一月十二日（木）十三時～十六時
場所　国立科学博物館附属　自然教育園　（庭園美術館となり）
　　東京都港区白金台五丁目二十一―五
担当　木下昌子　（草木乃庵稽古場）
　　昼田拓馬　（陸奥稽古場）
　　古市雅史　（楽市稽古場）
会費　三千円　（別途　要入園料　三百二十円）
　　六十五歳以上の方は無料　（要証明書）
定員　一八名　（晴風学舎会員に限りますが、
　　会員の方が同伴であれば、未会員の方も参加可）
申込　電話　〇八〇―一一〇七―五六二五　（古市迄）
　　Email　basehero14@docomo.ne.jp
　　＊JR目黒駅東口改札近くに十二時四十五分集合

「例えば、森」は、三回を区切りとした稽古会になります。
（＊単発での参加も可）
第二回　令和九年春　「草木の座談と稽古」（於：草木乃庵稽古場）
第三回　令和九年初夏　「百年の森を歩く」　（於：明治神宮）